

教 育 委 員 会 定 例 会 次 第

令和7年7月16日(水)
午後1時10分～
函南町役場 3階 教育委員会室

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長の報告その他事務事業の報告

4 付議案件

議案第40号 要保護及び準要保護児童生徒の認定廃止について

5 報 告

報告第12号 函南町スポーツ推進審議会委員の辞任について

6 そ の 他

(1) 後援依頼について

- ア 静岡がんセンター公開講座2025
- イ 第75次教育研究静岡県集会
- ウ 第13回親守詩静岡県大会
- エ 三島グロリア合唱団第42回定期演奏会
- オ 伊豆中央ロータリークラブ創立60周年記念講演
- カ 夏の1日体操教室
- キ 日本一のこどもハロウィン・パレードinみしま 2025
- ク 第43回選抜少年野球田方大会

(2) 次回委員会開催予定

令和7年8月27日(水) 9時00分～ 函南町役場3階 教育委員会室
※同日の13時10分から総合教育会議の開催を予定しています。

教育長関係報告事項

令和7年7月16日（水）

月日	曜日	内 容
6月25日	水	・ 議会 6 月定例会（9：00～）
6月26日	木	・ 田方地区学校保健会総会（14:00～）
6月27日	金	・ 管理主事訪問（函南中）（8：00～）
6月29日	日	・ 水防訓練（8：00～） ・ 青少年健全育成大会（13：30～）
6月30日	月	・ 人事管理訪問（東小）（13：30～） ・ 副町長退任式（17:00～）
7月1日	火	・ 町内校長会（13：30～）
7月3日	木	・ 静岡県教員育成協議会（静岡県庁）（9：30～）
7月4日	金	・ 共同学校事務室協議会（9：00～）
7月7日	月	・ 企画会議（15：00～）
7月8日	火	・ 静東市町教育委員会教育長会（9：00～）
7月9日	水	・ 管理職面談（9：00～）
7月10日	木	・ 管理職面談（9：00～） ・ 不登校連絡協議会（14：30～）
7月11日	金	・ あいさつ運動（7：30～） ・ 管理職面談（9：00～） ・ 臨時課長等連絡会議（13:10～）
7月14日	月	・ 部活動地域連携に関する打合せ（13：30～） ・ 市町村教育委員会教育長会議（16:00～）
7月15日	火	・ 管理職面談（9：00～） ・ 町内園長会（14:00～）
7月16日	水	・ 教育委員会定例学校等施設訪問（9：00～） ・ 定例教育委員会（13：10～）

議案第40号

要保護及び準要保護児童生徒の認定廃止について

要保護及び準要保護児童生徒の認定廃止について、教育委員会の承認を求める。

令和7年7月16日 提出
函南町教育長 久保田 浩子

提案理由

保護者から就学援助辞退届が提出されたので、認定廃止について教育委員会の承認を求めるものです。

報告第12号

函南町スポーツ推進審議会委員の辞任について

函南町スポーツ推進審議会委員より辞任届が提出されたので、教育委員会へ報告する。

令和7年7月16日 提出
函南町教育長 久保田 浩子

報告理由

任期中途の委員より、令和7年6月30日付けで辞任届の提出があったため、教育委員会に報告するものです。

辞 任 届

函南町教育委員会 殿

このたび函南町副町長を退職するにあたり、令和7年6月30日をもちまして、函南町スポーツ推進議会委員を辞任したく、ここに届け出ます。

令和7年6月30日

佐野 章夫



(設置)

第1条 スポーツ基本法(平成23年法律第78号)第31条の規定に基づき、函南町におけるスポーツを推進するため、函南町スポーツ推進審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(任務)

第2条 審議会は、スポーツ基本法第35条に規定するもののほか、教育委員会の諮問に応じて、スポーツの推進に関する次の事項について調査審議し、及びこれらの事項に関して教育委員会に建議する。

- (1) スポーツ施設及び設備の整備に関すること。
- (2) スポーツの指導者の養成及びその資質の向上に関すること。
- (3) スポーツの事業の実施及び奨励に関すること。
- (4) スポーツ団体の育成に関すること。
- (5) スポーツによる事故の防止に関すること。
- (6) スポーツの技術水準の向上に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、スポーツの推進に関すること。

(組織)

第3条 審議会は、7人以内の委員で組織する。

2 特別の事項を調査審議するため必要があるときは、審議会に臨時委員を置くことができる。

3 委員及び臨時委員は、非常勤とする。

(任命)

第4条 審議会の委員及び臨時委員は、次の各号の者のうちから町長の意見を聞いて任命する。

- (1) 学識経験のある者
- (2) 関係行政機関の職員

(役員)

第5条 審議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によつて定める。

3 会長は、審議会を代表し、議事その他の会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代理する。

(任期)

第6条 審議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

2 審議会の委員は再任されることができる。

3 臨時委員は、特別の事項に関する調査審議を終了した時は退任するものとする。

(議事)

第7条 審議会は、委員及び議事に関係のある臨時委員の総数の過半数が出席しなければ、議事を開き、議決することができない。

2 審議会の議事は、委員及び議事に関係のある臨時委員のうち出席した者の過半数をもつて決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

(庶務)

第8条 審議会の庶務は教育委員会事務局において処理する。

(細則)

第9条 この条例に定めるもののほか審議会の運営その他必要な事項については、審議会が定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成12年3月7日条例第12号)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成23年12月14日条例第27号)

この条例は、公布の日から施行する。

函南町教育委員会後援申請一覧 (令和7年7月定例教育委員会分)

令和7年7月16日開催

	事業名	主催者名	開催日 開催場所	入場料	過去承認	報告有無
1	静岡がんセンター公開講座2025	株式会社静岡新聞社 代表取締役 大須賀 紳晃	令和7年8月30日(土) 三島市民文化会館 小ホール	無料	有	有
2	第75次教育研究静岡県集会	静岡県教職員組合 中央執行委員長 赤池 浩章	令和7年10月25日(土) 伊豆の国市立菰山小学校・菰山中学校	無料	有	有
3	第13回親守詩静岡県大会	親守詩静岡県大会実行委員会 代表 杉山裕之	令和8年3月15日(日) 日本平ホテル	無料	有	有
4	三島グロリア合唱団第42回定期演奏会	三島グロリア合唱団 代表 西 月野 義織	令和8年2月1日(日) 三島市民文化会館 大ホール	無料	無	
5	伊豆中央ロータリークラブ創立60周年 記念講演	伊豆中央ロータリークラブ 会長 小野 憲	令和7年10月5日(日) 伊豆の国市 アクシズかつらぎ	無料	無	
6	夏の1日体操教室	NPO法人地域スポーツ振興協会 代表者 岡崎 達也	令和7年7月27日(日) 函南町文化センター 多目的ホール	無料	有	有
7	日本一のこどもハロウィン・パレード inみしま 2025	三島大通り商店街まつり実行委員会 代表 高木 基	令和7年10月26日(日) 三島大通り商店街	無料	有	有
8	第43回選抜少年野球田方大会	静岡県野球連盟田方支部 支部長 諏訪部 孝志	令和7年8月17日(日)、23日(土)、24日(日) 予備日: 8月30日(土) 函南運動公園、伊豆の国市・伊豆市の各会場	有料	有	有
9	以下余白					
10						

(第1号様式)

令和7年6月13日

函南町教育長 様

住 所 静岡市葵区駿府町1番12号

申請者

氏 名 赤池 浩章
(連絡先) 054-255-0156



後援申請依頼書

下記のとおり事業を開催しますので、函南町教育委員会の後援を賜りたく申請いたします。

記

事業名	第75次教育研究静岡県集会		
期 日	令和7年10月25日(土)10:00～令和7年10月25日(土)16:30		
会 場	伊豆の国市立韮山小学校、伊豆の国市立韮山中学校		
主催者	団体名	静岡県教職員組合	
	代表者	赤池 浩章	
	所在地	静岡市葵区駿府町1番12号 静岡県教育会館	
共催又は 後援団体 (申請予定 を含める)	☒ 有 ☐ 無 (有りの 場合はそ の名称)	共 催	静岡県教育事業団体連絡会
		後 援	連合静岡、静岡県PTA連絡協議会、 静岡県校長会、伊豆の国市教育委員会、 伊豆市教育委員会、田方地区PTA連絡協議会 伊豆の国市PTA連絡協議会 伊豆市PTA連絡協議会、函南町PTA連絡協議会

裏面があります。



事業の対象 と 目 的	教職員・保護者を対象に、憲法・子どもの権利条約の理念に基づき、平和を守り真実を貫く民主教育の確立と子どもを主体とした教育実践の充実をめざすことを目的とする。		
事業内容	教育研究の視点に基づき、分科会を開き、各教科・領域の実践発表と闊達な討論を行う。		
申請理由	研究集会の視点に基づき、各教科・領域の実践発表と闊達な討論を通して、教職員としての資質や力量の向上を図るため、教育委員会の後援が必要と考えた。		
入場料	有 料 ・ <u>無 料</u>	有料の場合の金額	円

※ 開催の事業資料を添付してください。

※ 入場料が有料の場合は、収支予算書を添付してください。

第 75 次教育研究静岡県集会日程（案）

集会スローガン 子どもを中心としたカリキュラムづくりをすすめよう
共生社会を生きる市民を育てる教育実践をすすめよう
協力協働の職場による教育研究活動を充実させよう

日時・会場

〈日 時〉 2025 年 10 月 25 日（土） 10:00～16:30

〈会 場〉 伊豆の国市韮山小学校・伊豆の国市韮山中学校

10 月 25 日 (土) 午前	時 刻	集 会 内 容	備 考
	10:00～	開 会	[会場] 各教室
		参加者自己紹介	
		分科会のすすめ方	
		第 74 次教研までの経過	
	10:10～12:00	発表・討論	
10 月 25 日 (土) 午後	12:00～12:45	昼食・休憩	
	12:45～16:30	再 開	[会場]
		発表・討論	各教室
		まとめ・第 75 次教研への課題	◇17:10～
		全国教研リポーター推薦	中央執行委員会
		レポート作成委員の選出	<リポーター確認>
		連絡事項	◇17:25～
		分科会ごと閉会	全国教研連絡会 教育運動担当者会

STU 静教組新聞 クリエイティブ 発信・静岡

静岡県教職員組合
〒420-0856
静岡市葵区駿府町1-12
教育会館内
TEL 054-255-0156
FAX 054-255-3910
赤池 浩章
福田 敬子
1部10円(送料別)
※組合員の購読料は組合費に含む。

教職員が集い、子どもの姿をもとに「語り合う」 第74次教育研究静岡県集会<分科会>



10月26日(土)第74次教育研究静岡県集会<分科会>が磐田市立豊田南中学校、豊田南小学校にて行われました。県内各地から約500人が参加し、学校の温もりある雰囲気の中で子どもの姿をもとに語り合いました。

今年度は、24の分科会において、合計177本のレポートが発表されました。分科会責任者、推進委員及び共同研究者のご協力により、どの分科会においても活発な協議が行われました。正会員をはじめとする参加者から有意義な時間だったという感想が多数寄せられました。

今年度より新たに「食教育」分科会が設置!

栄養教職員部を中心に、食教育に携わっている教職員が参加し、食教育の実践内容等について熱心に「語り合う」場面が見られました。



第74次教育研究全国集会リポーター選出

分科会名	名 前	単組支部	分会名	分科会名	名 前	単組支部	分会名
日本語教育	廣田 奈々	志太	六 合 中	体 育	太田 和徳	榛原	地頭方小
外国語教育(小)	露木 理沙	田方	桑 村 小	自治的活動と生活指導(小学校)	高木 裕之	磐周	豊田南小
外国語教育(中)	森 修平	富士	富 士 中	自治的活動と生活指導(中学校)	岩崎 建	志太	葉 梨 中
社会科教育	望月 康平	静清	竜 南 小	総合学習	鈴木喜多朗	小笠	日 坂 小
数学教育	村松 央道	小笠	倉 真 小	国際連帯と平和、人権、環境	浅山 敏也	沼津	門 池 小
理科教育	不破 晃久	駿東	須 山 小	両性の自立と平等をめざす教育	森下 寛子	榛原	三ツ星学園
美術教育	酒井 勉	志太	島田第二中	情報化社会と教育	石田 涼真	東豆	池 小
音楽教育	青 木 美 里	東豆	宇佐美中	民主的学校づくりと教育条件の整備	赤星信太郎	静清	清水飯田中
技術科教育	内山 優輝	小笠	掛川北中	地域における教育運動幼・小の連携	井鍋 実季	志太	島田第五小
家庭科教育	杉本 朱里	浜松	可 美 小	地域における教育運動過密・過疎、小規模	山崎 翔平	静清	城 北 小
保 健	山本 直子	東豆	伊豆山小	教育課程(カリキュラム)づくりと評価	杉浦 寛史	榛原	住 吉 小

《オブザーバー》

生活科 秋山咲帆(志太 大津小) 特別支援教育 柴田尚子(磐周 福田小)

開催支部長挨拶（一部抜粋）

磐周 竹内直樹 支部長・湖西 岡田浩輔 支部長

9月7日には、県教研の全体会がグランシップ静岡にて行われました。日本大学の末富教授を講師としてお迎えし、「こども基本法・子ども権利と学校のイノベーション」をテーマに講演をしていただきました。講演の中では、参加者が子どもや若者との接し方について話し合う時間もあり、子どもの権利を尊重することの大切さについて改めて考えることができる、貴重な機会となりました。（クリエイティブ10月10日号掲載）



本日の分科会では、24の分科会で、約180本のリポートが発表されます。丁寧な実践の積み重ねと、力の入ったリポートの執筆、ありがとうございます。静教組教育研究の基本目標にある「子どもを主体とした教育実践の充実をめざす」上では、本日の分科会がとても有意義な時間となることと思います。それぞれの実践について協議し合い、実り多い時間となればと思います。

次々と打ち出される教育施策や、生徒指導等への対応により、教育研究活動にじっくりと取り組むことのできない状況が生じています。このようなときだからこそ、子どものゆたかな学びのために何ができるのかを協議する場があることは、とても素晴らしいことだと思います。また、他地区の組合員と実践をもとに「語り合う」ことのできる機会は貴重かつ重要な場だと考えます。

第74次教育研究活動を通して学んだことや協議したことが、これからの学校生活での実践に生かされ、子どもたちのゆたかな学びへとつながることを願います。

第74次県教研分科会
ブログはこちらから



分科会① 日本語教育、外国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、美術教育、音楽教育、技術科教育

分科会② 家庭科、保健、体育、生活科、自主的活動と生徒指導、総合学習、国際連帯と平和・人権・環境

分科会③ 特別支援教育、両性の自立と平等をめざす教育、情報化社会と教育、民主的学校づくりと教育条件の整備、地域における教育運動 幼・少の連携、地域における教育運動 過密・過疎・小規模、教育課程(カリキュラム)づくりと評価、食教育

磐周支部・湖西支部の皆さん、参加者の皆さん ありがとうございました！

磐田市立豊田南中学校・磐田市立豊田南小学校の皆さん、磐周支部・湖西支部の皆さんには、県教研分科会の開催にあたり、準備から当日の片付けまで、様々な面でご理解、ご協力をいただきありがとうございました。



分科会参加者感想



○協議の時間を多くとれたので非常に満足しています。やはり、協議してこそその県教研だと感じました。今後試してみたいことがたくさんありました。



○同じ分科会でも発表内容が違って、多角的な方面から考えることができました。質疑、討論もとても有意義で、大変参考になる内容でした。



○他地区の音楽教育の様子を知ることができたり、新たな授業づくりを発見できたりするなど、実りのある集会でした。また、自分自身の研究についても、継続していこうと思うものもあれば、改善していかなければいけないものがあるな、と気づくことができ、よい機会となりました。

○自分の住む地域から離れた地域の実践を聞くことができ、同じところや違うところがたくさんあり、とても面白かったです。その中でも、それぞれに悩みがあったり、同じことで大変さを感じていたり、共感もできてよかったです。とても勉強になりました。

○通級指導教室の設置割合や運営の地域差など、県内各地の情報が集まったからこそ、初めて知ることができました。県教研ならではの学びが得られました。

○協力者の大学教授から、実践を裏付ける根拠となる話をいただけたことで、より身近にジェンダーや性差について考えることができました。各校の悩みや困っていることについて、直接、先生方と一緒に議論することができ、今後の教育活動に生かしていきたいと思いました。

○県教研の新たな形を模索していると聞いています。組合員にとって、よりよい学びとなるような形を実現させてほしいです。

○1日充実した時間となりました。県内の先生方の話は、自分の力量を上げるために本当に必要だと思います。今後もこのような研究集会の開催をお願いします。磐周、湖西支部の皆さんには準備、運営など、本当にありがとうございました。



みずおか俊一議員、聞いて！

－ 青年部委員会 －

静教組は、2025年7月の第27回参議院議員選挙比例代表で「みずおか俊一」さんを推薦しています。

みずおか参議院議員は静教組の様々な委員会に参加され、厳しい学校の現状について組合員と語り合いました。

今回は、青年部との意見交換会を紹介します。単組・支部の青年部長から、現場で感じている大変さや思い、課題等について、熱い思いを届けました。



現場は忙しすぎて、話す時間が無くなり、学ぶ場が減ってしまいました。若手として、教員としての資質向上のために先輩の先生方に色々教えてほしい。子どもや授業等について、放課後ゆっくり話すことのできる時間がほしい。

下校が14:30の日には、かなり仕事ができる。情報教育やキャリアパスポート等、様々な業務が増える一方だが、それを学校現場では頑張ってもらってほしい。削減していく内容を示してほしい。

切実な思いがとても伝わってきます！これこそ、現場の先生にしかわからない声です。議員の仕事は、説明して、説得して、提案する仕事。提案には根拠が必要で、現場の皆さんのこういう声が根拠になるのです。



人を増やすことももちろん大切だが、初めて学校現場に立つ新規採用教職員や臨時的・任期付任用教職員等へフォローできる体制や支えるための分会の雰囲気が必要。一人で抱え込むことでつぶれてしまう。

最近、働き方や職場環境から、教職員の仕事の大変さがクローズアップされ、教職員をめざす人が減っているように感じる。教職員は魅力のある仕事！もっと魅力を上げていくことが大切だと思う。

教職員希望者を増やしていきたい！そのためには、給料を上げることもあるが、サポートする人を増やさないと、結果的に教職員希望者は増えないのではないかと考えています。



育休に入る予定の方がいるが、代替の方がいない。日々、職員室も空っぽ。再任用の方が学年主任を担っている。それぞれの年代がライフステージに合わせ、気持ちよく休暇がとれたり、気持ちよく働くことができたりする環境整備が必要。

こんなことに困っている！これはおかしいな、という声を、それぞれの立場で上げていくことが重要です。一人ではなく、仲間と一緒に。静教組の皆さんだからこそ出来るのではないかと感じます。



今日、皆さんの思いを聞いたことで、具体的に学校現場の様子を織り交ぜながら国へ要求していくことができます。私も、僕も全力でとりくんでいきます！

みずおか議員が、青年部の声を一つ一つ受け止めてくださる姿に、「自分たちの声を本当に聴いてくださり、(自分たちの)この声が届いていくのだ」と参加者から声が上がりました。

みずおか議員から青年部のとりくみについてエールをいただきました。今後も、勢いのある青年部活動につなげていきます。



第74次 教育研究静岡県集会



〈絵／袋井市立袋井南小学校4年 武元 峻太朗さん〉

【全体会】開催日 2024年9月7日(土) 13:00~16:00

会場 グランシップ 11階 会議ホール風

講演 末富 芳さん(日本大学教授)

演題 こども基本法・子どもの権利と
学校のイノベーション



全体会オンライン視聴用

【分科会】開催日 2024年10月26日(土) 10:00~17:00

会場 磐田市立豊田南小学校・磐田市立豊田南中学校

◆主催 静岡県教職員組合 ◆共催 静岡県教育事業団体連絡会
◆後援 連合静岡 静岡県PTA連絡協議会 静岡県校長会 磐田市教育委員会 森町教育委員会
湖西市教育委員会 磐田市PTA連絡協議会 袋井市PTA連絡協議会 森町PTA連絡協議会

子どもを中心としたカリキュラムづくりをすすめよう
共生社会を生きる市民を育てる教育実践をすすめよう
協力協働の職場による教育研究活動を充実させよう

全体会 9月7日(土) 13:00~16:00

会場：静岡県コンベンションアーツセンター(グランシップ)
11階会議ホール 風

講師 日本大学 文理学部 教育学科
末富 芳さん(日本大学教授)

演題 『こども基本法・子どもの権利と
学校のイノベーション』

全体会アンケート



対面参加者用



オンライン参加者用

分科会 10月26日(土) 10:00~17:00

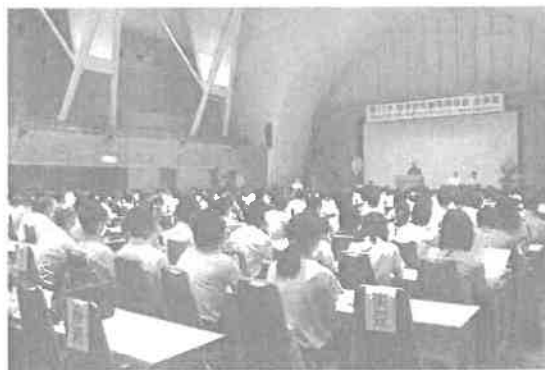
会場：磐田市立豊田南小学校
磐田市立豊田南中学校



お問い合わせ先



静岡県教職員組合
静岡市葵区駿府町1番12号 静岡県教育会館3階
TEL 054-255-0156



〈昨年の様子 全体会〉



〈昨年の様子 分科会〉

《分科会構成》

- | | |
|----------|-------------------------------|
| 第1分科会 | 日本語教育 |
| 第2分科会 | 外国語教育 |
| 第3分科会 | 社会科教育 |
| 第4分科会 | 数学教育 |
| 第5分科会 | 理科教育 |
| 第6分科会 | 美術教育 |
| 第7分科会 | 音楽教育 |
| 第8分科会 | 技術科教育 |
| 第9分科会 | 家庭科教育 |
| 第10分科会 | 保健 |
| 第11分科会 | 体育 |
| 第12分科会 | 生活科 |
| 第13分科会 | 自治的活動と生活指導(小学校) |
| 第14分科会 | 自治的活動と生活指導(中学校) |
| 第15分科会 | 総合学習 |
| 第16分科会 | 国際連帯と平和、人権、環境 |
| 第17分科会 | 特別支援教育 |
| 第18分科会 | 両性の自立と平等をめざす教育 |
| 第19分科会 | 情報化社会と教育 |
| 第20分科会 | 民主的學校づくりと教育条件の整備 |
| 第21分科会 | 教育条件の整備(事務) |
| 第22-1分科会 | 地域における教育運動
小分科会「幼・小の連携」 |
| 第22-2分科会 | 地域における教育運動
小分科会「過密・過疎、小規模」 |
| 第23分科会 | 教育課程(カリキュラム)づくりと評価 |
| 第24分科会 | 食教育 |

※履き物の用意がありません。
各自スリッパ等ご持参ください。

(第1号様式)

令和7年5月30日

函南町教育長 様

静岡市駿河区登呂3丁目1番1号

株式会社 静岡新聞社

大須賀 紳晃

(連絡先) 055-962-0381



後援申請依頼書

下記のとおり事業を開催しますので、函南町教育委員会の後援を賜りたく申請いたします。

記

事業名	静岡がんセンター公開講座2025		
期 日	令和7年8月30日(土) 13:00～令和7年8月30日(土) 15:30		
会 場	三島市民文化会館		
主催者	団体名	株式会社 静岡新聞社	
	代表者	大須賀 紳晃	
	所在地	静岡市駿河区登呂3丁目1番1号	
共催又は 後援団体 (申請予定)	☒ ・無 (有りの 場合はそ	共 催	静岡県立静岡がんセンター、三島市、沼津市、 長泉町、裾野市、函南町、清水町、三島市民 文化会館、プラサヴェルデ



を含める)	の名称)	後 援	静岡県教育委員会ほか
-------	------	-----	------------

裏面があります。

事業の対象 と 目 的	県立静岡がんセンターの医師らが様々ながんや治療方法の最新情報を県民に知ってもらうことを目的に開催している講座。 今年で22回目を迎える。全7回の講座のうち、8月30日に開催する第2回目の講座で、中高生を対象にした「10代から知っておきたいがんのお話」を開講。がん教育の観点から、学生にも広く聴講してもらいたい。
事業内容	全7回の講座のうち、8月30日に開催する第2回目の講座で、中高生を対象にした「10代から知っておきたいがんのお話」を開講。 「がんはどうしてできるのか?」「抗がん剤ってどんな薬?」などの講座をはじめ、ロボットで行う精緻な手術方法、AIを活用

	用した治療方法、内視鏡と腹腔鏡手術手技を体験できるような 講座内容を予定。		
申請理由	事業趣旨は教育に深く関係しており、当講座の社会的信用度、 公共的であることが明確であるため申請いたします。		
入場料	有 料 ・ 無 料	有料の場合の金額	円

※ 開催の事業資料を添付してください。

※ 入場料が有料の場合は、収支予算書を添付してください。

静岡がんセンター公開講座2025

概要書

2025年2月



企画概要【案】

企画名：第22期 静岡がんセンター公開講座2025 知ろう、一緒に。がん医療の今

開催日程：2025年7月12日（土）～2026年1月17日（土）の期間で 合計7回開催

開催場所：三島市民文化会館 小ホール、プラサヴェルデ コンベンションホールB

開催内容：全7回 ハイブリッド（WEB配信+会場集客）開催 ※1講座 3部構成（予定）

参加料：無料 ※途中からの参加も可能

主催：静岡新聞社・静岡放送

共催：静岡県立静岡がんセンター、三島市、沼津市、長泉町、裾野市、函南町、清水町

<検討中>

※タイトル、テーマは決定次第ご連絡いたします。

※1講座 3部構成を予定しております。

3部は質疑応答の時間（20分程度）で検討中。今後、がんセンター担当者と相談しながら進めてまいります。

講座内容【案】

- 全7回のハイブリッド開催で実施
- 会場は協議会市町の方が参加しやすい、三島市民文化会館とプラサヴェルデで実施
- WEBで県東部エリア以外の方に発信、会場では地元の方の参加を促します
- 1講座 3部構成を予定。3部は「質疑応答」の時間（20分程度）で調整中
- 今年も配信時間は20時まで延長予定

	講座日	場所	第一部	講師	採録紙面掲載日（案）
第1回目	7月12日（土）	三島市民文化会館	第一部	講師	8月20日（水）～8月23日（土）
			第二部	講師	
			第三部	タウンミーティング	
第2回目	8月30日（土）	三島市民文化会館	第一部	講師	9月24日（水）～10月4日（土）
			第二部	タウンミーティング	
			第三部	講師	
第3回目	9月27日（土）	三島市民文化会館	第一部	講師	10月22日（水）～11月1日（土）
			第二部	講師	
			第三部	タウンミーティング	
第4回目	10月18日（土）	三島市民文化会館	第一部	講師	11月19日（水）～11月23日（日）
			第二部	講師	
			第三部	タウンミーティング	
第5回目	11月23日（日）	プラサヴェルデ	第一部	講師	12月24日（水）～12月27日（土）
			第二部	講師	
			第三部	タウンミーティング	
第6回目	12月13日（土）	プラサヴェルデ	第一部	講師	2026年1月14日（水）～1月24日（土）
			第二部	講師	
			第三部	タウンミーティング	
第7回目	2026年 1月17日（土）	三島市民文化会館	第一部	講師	2026年2月18日（水）～2月21日（土）
			第二部	講師	
			第三部	タウンミーティング	

上記日程でWEB配信・会場開催を予定。
WEB配信は13：00～20：00を予定、
会場は第1～4回、7回が三島市民文化会館小ホール、第5、
6回がプラサヴェルデコンベンションホールBを予定しております。

採録記事は講座終了後4週間前後で社内調整をします。

全体スケジュール【案】

	全体	主催者	がんセンター	共催市町
3月			講師の選定	共催市町協議会で説明 広報枠の調整開始
4月		告知物作成 運営面打合せ		
5月	受講生募集開始 5月上旬予定	県東部市町 県東部病院、学校へ チラシ配布		各市町、広報で掲載
6月				
7月		現状の作業状況、受講者数など関係者と共有		
8月		・台本作成 ・動画配信準備 ・スタッフ手配 ・採録紙面担当者と 打ち合わせ ・司会手配 ・会場打ち合わせ など	各講師の資料手配	
9月				
10月	公開講座実施			
11月	採録紙面掲載			
12月				
2026年				
1月				
2月	報告書 提出			

講座までの流れ【案】

5月

受講生募集

6月

7月

8月

9月

10月

11月

募集は最終回の講座前日まで受け付けます

講座開講

チラシ・弊社媒体による告知で募集します。

※前年度登録者にDMを送る予定です。

※募集はメールをメインにして、ハガキ・FAXでも受け付けます。

受講希望者の方に資料をメールにて案内します。

講座日程や視聴方法を案内。ハガキ・FAXでお申し込みの方には郵送で案内します。

※視聴方法はインターネットに不慣れな方にもわかるような説明で案内します。

※郵送の方には事前にアンケート用紙を送り、視聴後にFAXで送っていただきます。

講座スタート（～2026年1月17日まで）

全7回ハイブリッド開催（WEB配信+会場集客型）

会場は三島市民文化会館 小ホール、プラサヴェルデ コンベンションホールB

ハイブリッド開催 <会場型>

- ・受講生に向けて事前に会場聴講の募集をします（募集方法は調整中）。
- ・受付で受講確認を実施。
- ・資料を配布します（当日の講座資料、御社のチラシなどを予定）

動画制作・配信は例年同様、SBSメディアビジョンが担当します。

特設サイト

★当講座の特設サイトを設置します。

★受講される方の属性を把握するため、簡単なアンケート（居住地・性別・年代）に回答いただきます。

★講師のプロフィールや資料をダウンロードできるようアップします。

★アンケートフォームをつくり、講座のご意見、質問などを受け付けます。

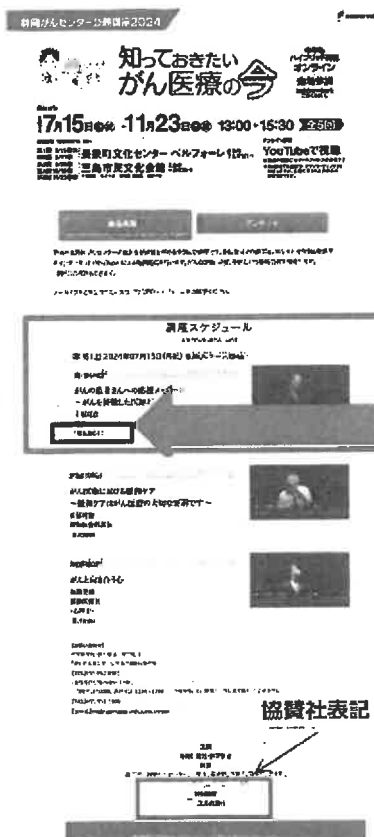
次回以降の参考に、がんセンターと共有をいたします。

※郵送の方には事前にアンケート用紙を送付します。

※感染症等の状況で、上記内容は変更する可能性があります。変更の場合は、その都度ご連絡いたします。

インターネットによる動画配信（イメージ）

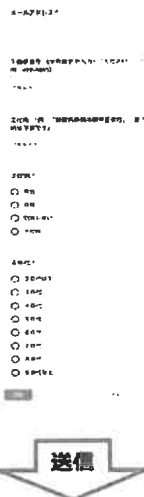
◆特設サイト



視聴用フォームに属性を入力していただきます

※視聴後にアンケート協力の案内をします。

講座資料DL



「がんセンター公開講座2025」WEB視聴へお申し込みいただき、ありがとうございました。
下記URLからご覧いただけます。

がんセンター公開講座2025
<http://www.gan-center.jp/>

クリックすると
視聴画面に移ります

初回からの参加者推移

	第1弾 2004	第2弾 2005	第3弾 2006	第4弾 2007	第5弾 2008	第6弾 2009	第7弾 2010	第8弾 2011	第9弾 2012	第10弾 2013	第11弾 2014	第12弾 2015	第13弾 2016	第14弾 2017	第15弾 2018	第16弾 2019	第17弾 2020	第18弾 2021	第19弾 2022	第20弾 2023	第21弾 2024
										平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和1	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6
会場	三島・長 泉	静岡	三島	三島	三島	三島	三島	三島	三島	三島	三島	三島	三島	三島	三島	三島	WEB	WEB	WEB	三島+WEB	三島・長泉 +WEB
第1回	543	893	557	320	247	295	331	213	227	845	651	565	505	729	865	681	685	585	577	694	437
第2回	487	811	495	290	262	234	292	212	195	686	572	472	492	713	813	457	502	361	378	516	654
第3回	464	729	451	279	233	244	265	220	183	598	362	550	427	710	550	462	367	265	455	472	388
第4回	234	668	431	251	209	224	268	189	178	511	432	441	447	580	589	510	359	247	378	394	361
第5回	411	694	373	249	208	200	257	188	165	534	413	347	375	513	584	348	405	285	411	435	390
第6回	372	638	376	226	202	204	207	179	165	515	393	380	315	492	617	435	463	277	389		
第7回	399	688	399	245	205	204	235	184	171	485	460	377	321	549	529	414	329	312	379		
合計参加者数	2,910	5,121	3,083	1,860	1,567	1,505	1,858	1,365	1,290	3,954	3,283	3,132	2,883	4,285	4,548	3,311	3,114	2,340	2,962	2,511	2,230
平均参加者数	416	732	440	266	224	229	265	195	184	565	469	447	412	612	650	473	445	334	423	359	319
最終登録者数	694	1,103	642	439	369	337	417	361	357	1,882	1,528	1,335	1,478	2,008	2,269	1,817	1,838	1,371	1,109	1,371	1,408

(人)

※2013年から受講料無料

静岡がんセンター公開講座2025

知ろう、一緒に。 がん医療の今



2人に1人ががんになる時代——。
がんを経験した医師からのメッセージや、
今話題の感染症、増加している悪性リンパ腫など、
がん医療の今とこれからについて、
がんセンターの医師らが解説します。
また、第2回目は中高生向けの特別企画として、
10代から知っておきたいがんの
基礎知識もお伝えします。
中高生以外の方も是非ご参加ください。

講座日程

2025 7.12(土) — 2026 1.17(土)
13:00—15:30
全7回

会場参加／受付開始 12:30—

第1回 7.12(土) 三島市民文化会館
第2回 8.30(土) (三島市一番町20-5)小ホール
第3回 9.27(土)
第4回 10.18(土) プラサヴェルデ
第5回 11.23(日) (沼津市大手町1-1-4)
第6回 12.13(土) } コンベンションホールB
第7回 1.17(土) 三島市民文化会館
小ホール

オンライン参加

YouTubeで視聴

後日URLをメールにて送信いたします。
※動画の視聴にはメールアドレス
が必要です。
※第3部に「質疑応答・タウンミー
ティング」を開催しますが、会場に
来られた方のみの参加となります。
上坂克彦先生によるミニレクチャー
はYouTubeにて配信予定です。

受講生募集／受講料無料

今年もハイブリッド開催
オンライン×会場参加
講座内容は裏面をご覧ください。

▶ 受講には事前に登録が必要です。▶ 1回だけの受講も可能。講座日の1週間前までにお申し込みください。

下記の基本情報を記入の上、お申し込みください。 ● 右記QRコードから応募フォームに入力
①氏名②ふりがな③郵便番号④住所⑤年齢⑥性別 ● ハガキ…〒410-8560(住所記入不要) 静岡新聞社・静岡放送
⑦職業(学校名)⑧連絡先電話番号⑨メールアドレス 東部総局「静岡がんセンター公開講座」係
⑩参加方法⑪これまでに本講座を受講したことが ● FAX…チラシ裏面に必要事項を記入して055-951-1400
ありますか?⑫当講座を何で知りましたか? までお送りください。※「静岡がんセンター公開講座」と記載してください。



7月上旬頃、講座案内(視聴用URLなど)をメールアドレスにお送りします。メールアドレスのご記入がない方には郵送します。
※入力いただいた個人情報は、主催者が運営ならびに講座案内資料送付に利用いたします。ご了承ください。

問い合わせ／静岡新聞社・静岡放送 東部総局 TEL.055-962-0381(土日祝日を除く9:00-17:00)

主催／静岡新聞社・静岡放送 特別協賛／スルガ銀行

共催／静岡県立静岡がんセンター、三島市、沼津市、長泉町、裾野市、函南町、清水町、三島市民文化会館、プラサヴェルデ

第1回 7/12㊦ 会場／三島市民文化会館 小ホール		
第1部	生活の中からがんを予防する～必要な知識と心構え～	講師 上坂克彦 総長 向川卓志 頭頸部外科部長 伊東昭子 スルガ銀行 資産コンサルティング営業部長
第2部	がん治療のさまざまな領域～頭頸部がんというがん～	
第3部	がんとお金～いざという時のお金の準備～ 質疑応答&タウンミーティング	
第2回 8/30㊦ 会場／三島市民文化会館 小ホール 特別企画「10代から知っておきたいがんのお話」		
1時限目	がんはどうしてできる?胃がんの診断と治療法	講師 寺島雅典 胃外科、副院長 佐藤 哲 薬剤部長 常石悠子 小児科 チャイルド・ライフ・スペシャリスト
2時限目	抗がん剤ってどんな薬?	
3時限目	チャイルド・ライフ・スペシャリストの仕事	
放課後	質疑応答&タウンミーティング&医療機器体験	
第3回 9/27㊦ 会場／三島市民文化会館 小ホール		
第1部	もし脳腫瘍があると診断されたらどうしますか?～脳腫瘍の最先端治療～	講師 本村和也 脳神経外科診療部長 武隈宗孝 婦人科部長 上坂克彦 総長
第2部	子宮頸がん・子宮体がんの治療最前線2025	
第3部	ミニレクチャー 質疑応答&タウンミーティング	
第4回 10/18㊦ 会場／三島市民文化会館 小ホール		
第1部	乳がんの検査と治療	講師 田所由紀子 乳腺外科副部長 大川雄太 内分泌・代謝内科部長 上坂克彦 総長
第2部	がんと糖尿病～がんに罹っても糖尿病と上手に付き合うには～ ミニレクチャー	
第3部	質疑応答&タウンミーティング	
第5回 11/23㊦・㊦ 会場／プラサヴェルデ コンベンションホールB		
第1部	悪性リンパ腫の診断と最新治療	講師 池田宇次 血液・幹細胞移植科部長 倉井華子 感染症内科部長 上坂克彦 総長
第2部	がんと感染症～免疫と抗菌薬、そして今話題の感染症まで～ ミニレクチャー	
第3部	質疑応答&タウンミーティング	
第6回 12/13㊦ 会場／プラサヴェルデ コンベンションホールB		
第1部	難治がん治療の挑戦～胆道がん～	講師 杉浦禎一 肝・胆・脾外科部長 朝倉浩文 小線源治療科部長 御牧由子 よろず相談 医療ソーシャルワーカー
第2部	がんの放射線治療～現在の到達点～	
第3部	一人で悩まずご相談を～よろず相談(がん相談支援センター)の活用法～ 質疑応答&タウンミーティング	
第7回 1/17㊦ 会場／三島市民文化会館 小ホール		
第1部	遺伝子を調べてがんを治療する～がんゲノム医療の基礎知識～	講師 鉦持広知 ゲノム医療推進部長 山口 建 名誉総長兼理事 上坂克彦 総長
第2部	医療田園都市構想～超高齢社会の理想郷を目指して～ ミニレクチャー	
第3部	質疑応答&タウンミーティング	

※日程、内容など変更になる場合があります。

受講申込書(FAX用)				
ふりがな		男性	女性	回答しない
氏 名		生年月日(西暦)	年	月 日 歳
住 所	〒			
TEL		これまでに本講座を受講したことが		
メールアドレス		参加方法	オンライン参加	会場参加
職業	会社員(医療関連/製薬/他) 公務員 自営 パート・アルバイト 学生(看護/介護/療法士/技師/他) 主婦 無職			
当講座を何で 知りましたか?	新聞広告・記事 テレビCM ラジオCM チラシ・ポスター 市町の広報 知人の紹介 静岡新聞社からのDM がんセンター がんセンターホームページ			

(第1号様式)

令和7年 6月 16日

函南町教育長 様

住 所 浜松市中央区馬郡町

申請者

氏 名 古屋 晃子

(連絡先)



後援申請依頼書

下記のとおり事業を開催しますので、函南町教育委員会の後援を賜りたく申請いたします。

記

事業名	第13回親守詩静岡県大会		
期 日	令和8年3月15日(日) 10時00分～12時00分		
会 場	日本平ホテル		
主催者	団体名	親守詩静岡県大会実行委員会	
	代表者	杉山裕之	
	所在地	静岡市清水区八木間町 2015 番地	
共催又は 後援団体 (申請予定 を含める)	☒ 有 (有りの 場合はそ の名称)	共 催	特定非営利活動法人子ども未来
		後 援	第12回大会は、静岡県、静岡県教育委員会、各市町および各市町教育委員会、諸団体等、計98団体後援

裏面があります。



事業の対象 と 目 的	幼児・小中学生とその保護者 幼保小中学校教員 保育士 その他 健全育成に関わる団体企業 300名 1 県内の幼児、小中学生、一般の方々に親守詩作成の機会と発表 の場を設ける。 2 親子の絆の再生を実現する		
事業内容	1 親守詩コンクール表彰式 2 親子の絆再生模擬授業 3 親子の絆再生講演 他		
申請理由	県内の小中学生に親守詩制作の機会と発表の場を設けるため。 函南町の小学校4校から応募あり。		
入場料	有 料 無 料	有料の場合の金額	円

※ 開催の事業資料を添付してください。

※ 入場料が有料の場合は、収支予算書を添付してください。

第13回親守詩静岡県大会概要

第13回 事務局長 伊藤秀男
〒426-0041 静岡県藤枝市高柳

1 概要

- (1) 名 称 第13回親守詩静岡県大会
- (2) 目 的 ①県内の幼児、小中学生、一般の方々に親守詩作成の機会と発表の場を設ける。
- ②親子の絆の再生を実現する
- (3) テーマ 子から親へ 親から子へ 変わらぬ思いを贈ろう
- (4) 基本方針 教師、学校、地域、行政、企業の共同による親子の絆再生
- 親子の絆が深まるまちづくりの推進
- (5) 対 象 幼児・小中学生とその保護者、保育士、小中学校教師、健全育成に関わる団体、一般
- (6) 開催日時 令和8年3月15日(日) 10:00~12:00
- (7) 場 所 日本平ホテル
- (8) 内 容 ① 親守詩コンクール表彰式
- ② 親子の絆再生模擬授業
- ③ 親子の絆再生講演 他
- (9) 主 催 親守詩静岡県大会実行委員会
- (10) 共 催 NPO 法人子ども未来
- (11) 後 援 静岡県、静岡県教育委員会、県内各市町、県内各市町教育委員会、県内企業等
(第12回大会は、県内98団体による後援)
- (12) 協 賛 県内企業、商店等
- (13) 募集人員 300名
- (14) 参加費 無料

2 大会日程 10:00~12:00

- 10:00 主催者挨拶
- 10:03 とびっきり楽しい授業(1名)
- 10:15 来賓祝辞 3名×3分 来賓紹介5分
- 10:30 表彰式
- 11:00 休憩
- 11:10 講演
- 11:40 閉会挨拶
- 11:45 写真撮影

3 親守詩コンクール

- (1) 目 的 県内の子どもたちと親が、親守詩を制作することで、親子の絆を深める。
- (2) 対 象 応募資格 静岡県内の幼児 小学生 中学生 一般
応募区分 幼児の部 小学生の部 中学生の部 一般の部
- (3) 目標作品数 5000点
- (4) 応募期間 令和6年10月14日 から令和7年10月14日まで(当日消印有効)
- (5) 応募方法 学校単位で応募、個人で応募
- (6) 審査基準 ①子から親への感謝が十分に表現された作品。
- ②親子の絆が感じられる作品。
- ③親子のコミュニケーションの価値や楽しさが実感できる作品。
- (7) 審査及び結果の公表 令和7年11月(予定)に厳正なる審査を行った上で、結果を速やかに報告する。
- (8) その他 ①作品は本人と親との創作で、未発表のものに限る。
- ②著作権等による争議が生じた場合、親守詩静岡県大会実行委員会は一切の責任を負わない。また著作権等の侵害に抵触するおそれのある作品は応募を受け付けない。
- なお、本人と親との創作でないことが判明した場合は、入賞を取り消す。
- ③応募作品の諸権利は、親守詩静岡県大会実行委員会に帰属する。

第 1 3 回親守詩静岡県大会 予算書

1 収入の部

科 目	予 算 額 (円)
1 参加者収入	0
2 支援金収入	450,000
計	450,000

2 支出の部

科 目	予 算 額 (円)
1 準備・募集費	130,000
2 大会運営費	130,000
3 大会冊子費	40,000
4 会場費	150,000
計	450,000

(第1号様式)

令和 7年 6月 30日

函南町教育長 様

住 所 三島市南田町

申請者

氏 名 月野 義識

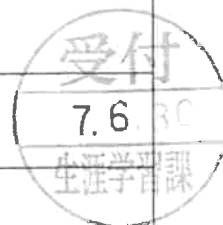
(連絡先)

後援申請依頼書

下記のとおり事業を開催しますので、函南町教育委員会の後援を賜りたく申請いたします。

記

事業名	三島グロリア合唱団第42回定期演奏会		
期 日	令和 8年 2月 1日 (日)		
会 場	三島市民文化会館 大ホール		
主催者	団体名	三島グロリア合唱団	
	代表者	月野 義識	
	所在地	三島市南田町	
共催又は 後援団体 (申請予定 を含める)	有・無 (有りの 場合はそ の名称)	共 催	無
		後 援	三島市及び三島市教育委員会、沼津市・沼津市教育委員会、長泉町・長泉町教育委員会、三島市芸術協会、三島市合唱協議会 SBS 静岡放送・静岡新聞社



裏面があります。

事業の対象 と 目 的	一流のプロ指導者のもと合唱音楽の正統的演奏を目指して日々重ねてきた練習の成果を発揮し、歌うことの喜びと合唱の素晴らしさをより多くの聴衆に届ける。今回は、これまでの混声合唱に加え、男声合唱や女声合唱曲にも取り組んでおり、グロリア合唱団の演奏の幅を更に広げて、新たな魅力を発信し団員の獲得にもつなげる。オーケストラと歌う本格的な市民合唱団として、建東部地域の文化活動の振興に寄与してきた活動を継続する。		
事業内容	三島グロリア合唱団第 42 回定期演奏会 指 揮：八尋 和美 出 演：廣瀬 真弓 斉藤 裕子 鏡 貴之 月野 進 オーケストラ：東京バッハカンタータアンサンブル 曲 目：J.S.バッハ 作曲／ミサ曲ト短調 BWV235 シューベルト 作曲／ミサ曲第 2 番ト長調 D.167 ブラームス 作曲／4つの歌・女声合唱 寺嶋陸也 編曲／「ふじの山」男声合唱		
申請理由	演奏会の開催にあたり、函南町内の公共施設で広く町民に向けて広報活動を展開するため。 新聞社等の民間団体にも、広域の市町からの後援を得ていることで合唱団に対する信用が増すことが期待される。		
入場料	有 料 ・ 無 料	有料の場合の金額	3, 0 0 0 円

※ 開催の事業資料を添付してください。

※ 入場料が有料の場合は、収支予算書を添付してください。

(様式 1)

収 支 予 算 書

1 収入

区 分	金 額	摘 要
団員負担金	2,430,000 円	45,000 円× 54 名
チケット売上	80,000 円	3,000 円× 30 枚 (前売り、当日券)
積立基金	1,600,000 円	三島グロリア合唱団定演積立基金より
三島市補助金	60,000 円	みしまの文化百花繚乱補助金
雑収入	20,000 円	ご祝儀 等
収入合計	4,200,000 円	

2 支出

区 分	金 額	摘 要
出演料	3,250,000 円	指揮者、オーケストラ 30 名 ソリスト 4 名 他
交通宿泊費	400,000 円	指揮者、オーケストラ 30 名 他
会場費	200,000 円	三島市民文化会館大ホール・楽屋他使用料 (リハーサル、本番)
広報費	200,000 円	チラシ、チケット、ポスター等制作費
人件費	100,000 円	受付・案内、保安全管理要員 他
事務費	20,000 円	事務用品、郵送料、振込手数料 JASRAC 著作権料 他
接待費	30,000 円	出演者弁当代 他
支出合計	4,200,000 円	

GLORIA

三島グロリア合唱団

第42回定期演奏会

2026年2月1日(日)14時開演

会 場 三島市民文化会館大ホール

指 揮 八尋 和美

ソプラノ 廣瀬 真弓 アルト 斉藤 裕子 テノール 鏡 貴之 バス 月野 進
オーケストラ 東京バッハ・カンタータ・アンサンブル



多彩な演奏形態で綴るコンサート！

J. S. バッハ 作曲 / ミサ曲ト短調 BWV235

シューベルト 作曲 / ミサ曲第2番ト長調 D.167

J.ブラームス 作曲 / Vier Gesänge

二つのホルンとハープの伴奏による女声合唱

寺嶋陸也 編曲 / 明治・大正の唱歌編曲集「ふじの山」男声合唱

春の小川、鯉のぼり、ふじの山、荒城の月 他

偉大な作曲家たちの真冬の饗宴 出演者募集中！

(第1号様式)

令和7年6月30日

函南町教育長 様

申請者

住 所 伊豆市小立野

氏 名 水谷 隆一

(連絡先)



後援申請依頼書

下記のとおり事業を開催しますので、函南町教育委員会の後援を賜りたく申請いたします。

記

事業名	創立 60 周年記念講演『陽伊豆る構想 Aging in Place を目指して』		
期 日	令和7年10月5日(日) 13時00分から 15時30分まで		
会 場	伊豆の国市 アクシスかつらぎ		
主催者	団体名	伊豆中央ロータリークラブ	
	代表者	会 長 小 野 憲 (伊豆医療センター院長)	
	所在地	伊豆の国市古奈 185-1 (サンバレー富士見 内)	
共催又は 後援団体 (申請予定 を含める)	有・無 (有りの 場合はそ の名称)	共 催	
		後 援	函南町 函南町社会福祉協議会 函南町商工会 伊豆の国市 伊豆の国市教育委員会 伊豆の国市社会福祉協議会 伊豆の国市商工会 伊豆市 伊豆市教育委員会 伊豆市社会福祉協議会 三島田方法人会 静岡新聞社 伊豆日日新聞

裏面があります。



事業の対象 と 目 的	持続可能な地域社会の未来を模索する現在において、高齢者対策と健康づくりをこれからの地域を担う若年層・介護事業者・従事者・自治体福祉関係者・地域住民に、現在伊豆の国市を舞台にした先進的な健康づくりモデル「陽伊豆の構想」を紹介することを目的に講演会を企画しました。 対象は、聴講自由ですが、特に若年層の受講者があることを期待します。		
事業内容	地域医療・介護・予防・テクノロジーが融合し、フレイル予防(介護が必要となる前段階)やリエイブルメント(再びできる力)をキーワードに、誰ひとり取り残さない持続可能な社会の実現を目指します。講演では、以下のようなテーマに触れます： ・地域に根ざした高齢化対策と健康づくり ・健康マイレージや地域ポイント制度の展望 ・AI/IoTを活用した新しい健診・予防モデル ・世界展開：アジア・アフリカ・ラテンアメリカへの展望を講演いただきます。		
申請理由	講演を若年層に聴講いただき、将来の地域での就業、暮らし続けていく選択肢に伊豆でもやっていけるということを伝えたい。同様に現在現役で介護や福祉に携わる方々に、これからの進べき方向に Aging in Place を意識していくことの重要性を共有していただく機会としていただきたく、自治体、教員委員会、社会福祉協議会、各種団体に後援を申請いたします。		
入場料	有 料 ・ ☐ 無 料	有料の場合の金額	円

※ 開催の事業資料を添付してください。

※ 入場料が有料の場合は、収支予算書を添付してください。

伊豆中央ロータリークラブ創立60周年記念

特別講演

2025
10.5 日 13:30-15:30
開場13:00

会場／アクシスかつらぎ(伊豆の国市長岡1146-1)
(伊豆長岡駅から徒歩約10分／駐車場あり)

Aging in Placeを 目指して

高齢化先進地から未来を創る
地域と世界をつなぐ健康戦略

[講 師]

順天堂大学大学院医学研究科
湯浅資之先生
グローバルヘルスリサーチ研究室 主宰
元JICA国際保健医療専門家



湯浅先生の提唱する「陽伊豆の国構想」は、伊豆を舞台にした先進的な健康づくりモデルです。
地域医療・介護・予防・テクノロジーが融合し、フレイル予防(介護が必要となる前段階)やリエイブルメント(再びできる力)をキーワードに、誰ひとり取り残さない持続可能な社会の実現を目指します。講演では、以下のようなテーマに触れ「地域に根ざした高齢化対策と健康づくり」「健康マイレージや地域ポイント制度の展望」「AI/IoTを活用した新しい健診・予防モデル」「世界展開:アジア・アフリカ・ラテンアメリカへの展望」伊豆から全国、また世界に展開する健康戦略を講演となります。

- 主催／伊豆中央ロータリークラブ(創立60周年記念事業実行委員会)
- 協力／順天堂大学 グローバルヘルスリサーチ研究室

後 援／伊豆の国市 伊豆市 函南町 伊豆の国市教育委員会 伊豆市教育委員会 函南町教育委員会 伊豆の国市社会福祉協議会
伊豆市社会福祉協議会 函南町社会福祉協議会 伊豆の国市商工会 伊豆市商工会 函南町商工会 静岡新聞社 伊豆日日新聞

住み慣れた地域で
健康に自分らしく
暮らす為に

伊豆から世界に拡げる健康戦略

参加費
無料
(申込不要)

ご興味のある方は
どなたでも
中高生から介護・福祉事業者
自治体関係者・地域住民まで

お問合せ 伊豆中央ロータリークラブ創立60周年記念実行委員会 TEL.090-3448-9657[担当 水谷]

湯浅 資之 Profile



- 医学博士(1997年取得)
- 所属: 順天堂大学 国際教養学部
- 出身大学: 北海道大学 医学部(1987年卒業)

専門領域・研究テーマ

- 専門分野: グローバルヘルス、公衆衛生学、ヘルスプロモーション、高齢化対策、疫学など
- キーワード: 開発途上国、感染症対策、生活習慣病、高齢者ケア、保健システム、在宅医療、リエイブルメントなど
- 主な研究: 「陽伊豆の国構想」など、静岡県伊豆の国市での高齢化・生活習慣病対策を通じた地域モデル研究
- ミャンマー、フィリピン、ブラジル、ボリビア、シリアなど複数国での公衆衛生活動/疫学調査

キャリア・国際協力経験

医師資格取得後、北海道庁勤務、静内保健所所長を経て、JICA専門家としてフィリピン保健省・ブラジル大学などで活動、その後シリアでは母子保健支援プロジェクトにも従事

2009年: 順天堂大学医学部に准教授就任

2015年: 国際教養学部 前任准教授を経て、2017年より教授

教育・ゼミ活動

担当授業: 「開発途上国におけるグローバルヘルス」「持続可能な高齢社会」などゼミ・研修: タイ、ミャンマー、ボリビア、伊豆などでフィールドワークを重視し、

「若いうちの現地体験」による学びを奨励!

受賞歴

- フィリピン国ホセ・リサル賞(1998年)
- 日本公衆衛生学会奨励賞(2004年)

代表的研究・著書

- 疫学研究: タイ、ミャンマーでの糖尿病や生活習慣病に関する疫学調査(KAKEN掲載)
- 著書: 「ヘルスプロモーションの原点回帰」(2021年)

～ 講演に向けて ～

『Aging in Place』(=住み慣れた地域で自分らしく暮らせる)を60周年記念事業のテーマに掲げています。ご承知の通り、わが国は世界で最たる高齢社会です。少子化も大きな問題になっています。現在当地域に住んでいる高齢者だけでなく、子供を含めた若者が将来安心して生活できる環境を整えることが目標です。目標達成にはさまざまな分野の方、あらゆる世代の方の協力が必要です。私たちの活動が皆さまの明るい未来に貢献できれば幸いです。

伊豆中央ロータリークラブ 会長 小野 憲

(第1号様式)

2025年 7月 2日

函南町教育長 様

住 所 沼津市三園町
申請者 地域スポーツ振興協会
氏 名 岡崎 達也
(連絡先)

後援申請依頼書

下記のとおり事業を開催しますので、函南町教育委員会の後援を賜りたく申請いたします。

記

事業名	夏の1日体操教室		
期 日	2025年 7月 27日		
会 場	函南町文化センター 多目的ホール		
主催者	団体名	地域スポーツ振興協会	
	代表者	岡崎 達也	
	所在地	沼津市三園町	
共催又は 後援団体 (申請予定 を含める)	有・無	共 催	
	(有りの 場合はそ の名称)	後 援	

裏面があります。



事業の対象 と 目 的	町内の幼児、児童に対し、体操競技を通じてスポーツを行う楽しさと共に、青少年の健全育成を図る		
事業内容	トランポリン・跳び箱・マット運動		
申請理由	町内の多くの幼児・児童に認知してもらう為		
入場料	有 料 ・ 無 料	有料の場合の金額	円

※ 開催の事業資料を添付してください。

※ 入場料が有料の場合は、収支予算書を添付してください。

・近隣 市町村 単独

R4 沼津市・富士市・三島市・伊豆の国市

R6 沼津市・三島市・富士宮市・裾野市・御殿場市 など

みんなも参加しよう！！ 1日体操教室

主催：特定非営利活動法人 地域スポーツ振興協会

後援：函南町教育委員会(予定)

1日体操教室のご案内

拝啓 盛夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて地域スポーツ振興協会はスポーツを通じて子供たちの運動能力の向上・地域スポーツの活性化を促すとともに団体で行動することにより自己の規律や共同の精神を学び、挨拶や礼儀のしつけの部分で大きく成長できるような環境を確保、普及する目的で設立されました。

その中で今回は函南町文化センターにて1日体操教室を開催します。ぜひご参加して頂ければと思います。

敬具

記

1. 日 時 2025年7月27日(日) ①/3:00～ ② 14:30～
※当日は保護者の同伴が必要となります。
2. 場 所 函南町 文化センター 多目的ホール
3. 対 象 函南町の幼児・児童
4. 内 容 トランポリン(4メートル)、跳び箱、柔軟運動、倒立 など
5. 定 員 最大 20 名 ※一人の指導員につき児童 10 名までとさせていただきます。
6. 費 用 無料
7. 指 導 者 ボランティア指導員 2～4 名

以上

<申し込み方法>

お申し込みは電話にて承ります。

NPO 法人 地域スポーツ振興協会

TEL 052-838-6535 (月～土 9時から17時まで)

締め切りは7月25日です。

定員となり次第締め切りとさせていただきます。

2025年度 1日体操教室 計画書

体育館借用時間

借用時間より

0:00

体育館到着・準備開始
トランポリン・跳び箱・マットの準備

参加者集合
名簿記入

0:30

全体挨拶・自己紹介・ルール確認
『安全に楽しく行うためのルール』
・先生のお話をしっかり聞く
・体育館内は走らない⇒接触事故防止
・できるといっても勝手に技をやらない⇒ケガ防止

0:35

ウォーミングアップ
①フープでグーパー
②フープでケンパー など3〜4周

全員で柔軟体操・ブリッジ
①前屈10秒
②左右開脚 左右10秒ずつ
③左右開脚前屈 10秒
④ブリッジ 10秒〜20秒

0:40

トランポリン練習

小学生

- ①ストレートジャンプ×5本
- ②グージャンプ(かかえこみ跳び)
- ③パージャンプ(左右開脚跳び)
- ④半分、1回ひねりジャンプ

計4周

幼児

- ①ストレートジャンプ×5本
- ②手たたきジャンプ
- ③グージャンプ(かかえこみ跳び)
- ④パージャンプ(左右開脚跳び)

計4周

注意事項

- ・1週につき跳ぶ回数は2〜3回ずつ
- ・幼児は安全の為、はじめは手をつないで跳ぶ
- ・ジャンプが中心からずれたらすぐにストップかける

子どもに伝えるルール

- ①トランポリンの下には入らない
- ②2人で乗らない
- ③飛び降りない

1:05

跳び箱練習

小学生

- ①ロイター板ジャンプ
⇒助走・踏みきり・着地の練習
- ②開脚跳び
⇒個人の能力に合わせて段数をかえる
- ③台上前転・開脚跳び・ヘッドorハンドスプリング
⇒個人の能力次第

幼児

- ①駆け上がり
⇒助走・着地の練習(跳び箱に慣れる目的)
- ②ロイター板ジャンプ
⇒助走・踏みきり・着地の練習
- ③開脚跳び
⇒個人の能力に合わせて段数をかえる

1:30

全体挨拶

1:35

アンケート記入後、解散
希望者には延長練習
片付け・掃除
借用時間が3時間以上であれば同様にもう1時間練習
完全撤退

2:00

全体注意事項

- ・安全第一で行う⇒無理に技を進めない、接触事故のないようにする
- ・夏は熱中症に注意し、こまめに水分補給の時間を設ける
- ・冬はしっかりウォーミングアップ、柔軟運動をし、怪我のないようにする
- ・運動の楽しさ、魅力を伝えることが目的なので、無理させない

(第1号様式)

令和7年7月7日

函南町教育長 様

住 所三島市本町

申請者三島大通り商店街まつり実行委員会

氏 名 高木 基

(連絡先) 事務局 安藤

後援申請依頼書

下記のとおり事業を開催しますので、函南町教育委員会の後援を賜りたく申請いたします。

記

事業名	日本一のこどもハロウィン・パレード in みしま 2025		
期 日	2025年10月26日 11時00分 ～ 16時00分		
会 場	三島大通り商店街		
主催者	団体名	三島大通り商店街まつり実行委員会	
	代表者	高木 基	
	所在地	三島市本町	
共催又は 後援団体 (申請予定 を含める)	有・	共 催	
		後 援	三島市教育委員会、三島商工会議所、沼津市教育委員会、長泉町教育委員会、清水町教育委員会、伊豆の国市教育委員会、伊豆市、裾野市教育委員会

裏面があります。

事業の対象と目的	対象：三島市及び周辺地域の住民のみなさま 目的：ハロウィンとは、米国を中心に盛んに行われるとても楽しい仮装行事です。毎年10月31日に行われ、子供から大人まで仮装して登校、出勤するような楽しい一日です。夕方には、お化けやヒーローに仮装した子供たちが、親に付き添われながら近所の家々を訪問し、お菓子をもらえる「トリック・オア・トリート (Trick or Treat)」があります。近所の家々では、かわいい子供たちの訪問に備えて、大きなボールに山盛りのお菓子を用意して待っています。「ハロウィン・パレード in みしま」では、そんな大人と子供の温かい世代を超えたコミュニケーションを大切にし、子どもたちの異文化交流を楽しく体感していただきたく企画いたしました。毎年好評いただいているこのイベントを継続して開催いたします。		
事業内容	11:00 歩行者天国開始 11:00 (事前申し込み制) はがき(裏面タグ印刷)を郵送し、ハガキを持参した方のみ参加でき、店舗をまわり、トリックオアトリートをするとお菓子をもらえる 14:15 トリックオアトリート終了 14:30 大パレード開始 仮装した参加者がパレードします。大抽選会開催 16:00 歩行者天国終了 イベント終了 片付け		
申請理由	より多くの地域市民に知っていただくため。		
入場料	有 料 ・ 無 料	有料の場合の金額	円

※ 開催の事業資料を添付してください。

※ 入場料が有料の場合は、収支予算書を添付してください。

15th
ANNIVERSARY

日本一のこども since 2009

ハロウィン・パレード

in みしま 2024

パレード最後まで参加で

ディズニーチケット
当たる!

参加無料 限定 2024 名 (申込先着)

10.20(日)

受付はありません
トリック or トリート 11:00~14:15
大パレード! 14:30~
※ホコ天時間は、11:00~16:00です

参加対象者: 0歳~12歳まで (小学生以下)
※必ず保護者同伴でご参加ください
三石神社前~大社西交差点までがパレード範囲です

ハロウィンパレードとは...

登録ハガキのお店で「トリック・オア・トリート」と言うと、お菓子がもらえるよ!

みんなで大パレード! 最後に「ディズニーペアチケット」が当たる抽選会があるよ!

フォトコンテストは、#ハロウィンパレードみしま2024をSNSにアップして、チャレンジ!



2023年のフォトコン入賞
ハロウィン・フードワゴン! (写真はイメージです)

9/19~

予約開始
START!

詳しくは、
お申込みはお早めに!



←←←←
こちらから
←←←←
ウラ面を!

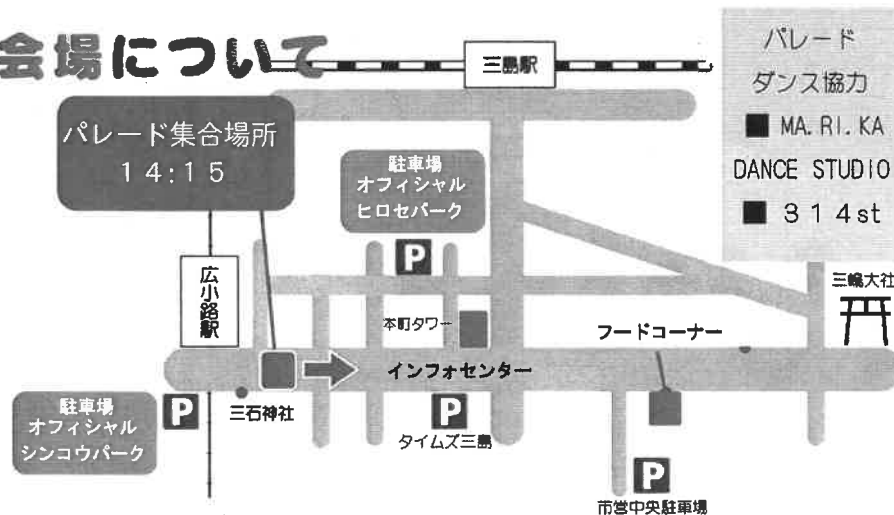
※前回は2,111人の
お申し込みがありました!

お申し込みはWEBで!

保護者も仮装して
参加してね!



会場について



パレード参加で、豪華プレゼントが当たる！

セルフ・フォトコンテスト！

ハッシュタグをつけて、SNS にアップ！



前回コンテストの入賞写真

後日、実行委員会で各 SNS ハッシュタグを検索、審査をします。入賞者にはプレゼントを進呈します。ハロウィンパレード参加中の魅力的な写真をたくさん撮って、チャレンジしよう！



#ハロウィンパレードみしま 2024

受付について

以前は、3 か所で受付をしてから「トリック・オア・トリート」を始めていましたが、一昨年から、訪問する店舗名を記載した登録ハガキを、申し込みした参加者へ事前に郵送し、当日は受付をせず、時間内にそれらの店舗へ登録ハガキをお持ちの上、マップを見ながら巡っていただく方式に変更しました。



ハロウィン・パレード in みしま

1. 登喜和	11. クマノミ雑貨店
21. 松屋化粧品	31. 堀屋
41. 野々山紙店	51. ミセス
61. ステラ	83. 静岡トヨペット
81. セキスイハイムA	82. セキスイハイムB
48. 三島市役所	フォトコンテスト

登録ハガキの裏面サンプル

予約方法

9/19～

申し込み開始です。



WEB 申し込みのみです（電話・メールでの受付不可）

定員数に達した場合はキャンセル待ちとなります。

<https://www.mishima-odori.com/street/2024/08/07/halloween2024/>

プラン例

私ならこう行く！

- 11:30 トリック or トリート前半
- 12:00 フォトコン撮影
- 12:15 ハロウィン・ランチ
- 13:00 商店街ショッピング
- 13:30 トリック or トリート後半
- 14:15 集合
- 14:30 大パレード！→抽選会！！



【注意事項！】

- 事前申込制です。WEB でお申し込みください。電話やメールでのお申し込みはできません。
- 定員になり次第、締め切ります。
- 申込後、主催者からの連絡はありませんので、上記ホームページ URL で都度ご確認ください。
- 荒天の場合は、イベント中止です。（少雨決行、HP で要確認：当日朝 8 時に発表）
- 会場では、ハロウィンパレード・ルートおよび交通ルールを守って行動してください。
- おばけ、ヒーロー、キャラクター等に仮装して、保護者と一緒にご参加ください。
- イベント中に主催者によって撮影される写真や映像等は、紙面や HP 等に掲載される場合がございます。
- 本会趣旨に沿わないと判断された場合には、受付当日に参加をお断りすることがございます。
- 主催者以外が配布しているお菓子は、責任を負いかねます。自己責任でお受け取りください。

以前の模様
テレビ静岡



主催：三島大通り商店街まつり実行委員会 協力：三島市

✉ mishima.odori.matsuri@gmail.com ☎ 080-7272-8091（受付時間は平日午後 2 時～5 時、土日は休み）

後援：三島市、三島市教育委員会、沼津市教育委員会、伊豆の国市教育委員会、伊豆市教育委員会、裾野市教育委員会、函南町教育委員会、清水町教育委員会、長泉町教育委員会、三島商工会議所、FM ボイスキュー、三島市観光協会、伊豆箱根鉄道株式会社

(第1号様式)

令和7年7月7日

函南町教育長 様

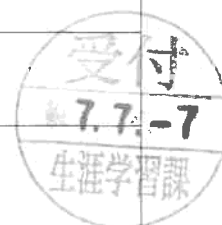
申請者 住 所 函南町仁田 13-2 504
静岡県野球連盟田方支部
氏 名 支部長 諏訪部 孝志^印
(連絡先) XXXXXXXXXX

後援申請依頼書

下記のとおり事業を開催しますので、函南町教育委員会の後援を賜りたく申請いたします。

記

事業名	第43回選抜少年野球田方大会		
期 日	令和7年8月17日(日)、23日(土)、24日(日) 予備日8月30日(土)		
会 場	函南運動公園ほか伊豆の国市及び伊豆市の各会場		
主催者	団体名	静岡県野球連盟田方支部	
	代表者	支部長 諏訪部 孝志	
	所在地	函南町仁田 XXXXXXXXXX	
共催又は 後援団体 (申請予定 を含める)	☒ 有・無 (有りの 場合はそ の名称)	共 催	
		後 援	伊豆の国市、伊豆の国市教育委員会 伊豆市、伊豆市教育委員会



裏面があります。

事業の対象 と 目 的	本事業により青少年健全育成を推進する。 本大会の期間中、野球の試合を通じて学童選手の相互理解を図る		
事業内容	静岡県野球連盟及びスポーツ少年団に所属する少年（学童）チーム 32 チーム（田方支部 8 チーム・他支部 24 チーム）によるトーナメント方式の軟式野球大会		
申請理由	青少年健全育成を推進すると共に野球を通じて学童選手の相互理解を図るため		
参加料	有 料 ・ 無 料	有料の場合の金額	7, 0 0 0 円

※ 開催の事業資料を添付してください。

※ 参加料が有料の場合は、収支予算書を添付してください。

第 43 回選抜少年野球田方大会実施要項(案)

会期	8月17日(日)・23日(土)・24日(日) 予備日 8月30日(土)
開会式	開会式は行いません。直接試合会場へ行って試合を行って下さい。
会場	伊豆の国市韭山運動公園野球場 他
参加資格	参加チームは小学生年齢のクラブチームで、静岡県野球連盟およびスポーツ少年団に加盟しスポーツ安全傷害保険に加入していること。
適用規則	本大会要項・大会特別規定のほか2025年版公認野球規則・競技者必携ならびに県連特別規則による。
試合方法	1. トーナメント方式による6回戦とし、5回をもって正式試合とする。 2. 試合開始後1時間30分経過以降は、均等回完了をもってゲームは終了とする。 3. 6回終了または1時間30分を超えて同点の場合は、タイブレークを1回おこない、なお勝敗がつかない場合は抽選により勝敗を決する。 4. タイブレークは継続打順で無死1、2塁の状態で行う。
コールドゲーム	1. 点差によるコールドゲームは3回以降15点差、5回以降7点差とし、決勝戦を含む全試合に適用する。 2. 日没・降雨の場合は5回をもって試合成立とする。(決勝戦を含む全試合に適用する)
投手の投球制限	投手の投球制限については、投球数を最大70球までとする。(四年生以下は60球以内)
シートノック	シートノックは5分間とするが、運営上省略することもある。
ベンチ	トーナメント表の若番号のチームを一塁側とする。
ベンチ入場者	ベンチ入りできるのは代表者1名・監督(背番号30)・コーチ2名(背番号28・29)・スコアラー1名・健康管理者2名と登録選手(背番号0～99・主将10)20名以内とする。監督・コーチは2025年度少年野球指導者研修会を受講済みで、指導者証を携帯している者のみがベンチ入りできる。
メンバー交換	1. 第1試合のメンバー交換は、試合開始予定時刻の30分前とする。第2試合以降は前試合の2回終了時とし、当該チームに連戦のチームがある場合は、前試合の終了後とする。 2. 監督・主将は所定のメンバー用紙(5枚綴り)を持参し、各試合会場本部席に提出のこと。
用具・服装	1. 監督・コーチは選手と同一の服装(ユニフォーム・アンダーシャツ・靴下)を着用し、代表者・スコアラーはユニフォームを着用せず、帽子を必ず着用のこと。健康管理者はビブスを着用すること。 2. 捕手はマスク・ヘルメット・プロテクター・レガース・セーフティーキャップを、打者・次打者・走者・ランナー・コーチはヘルメットを必ず着用すること。控え捕手も捕手と同じとする。 3. 試合用具は必ずJSBB公認のものを使用すること。(試合前に審判員の点検を受ける)
大会参加費	1チーム7,000円 大会当日各会場受付で納入。
その他	組合せ・試合会場案内等については参加チームに直接案内します。 試合当日「健康チェックシート」を受付に提出のこと。

大会 特 別 規 定

登録選手の変更	登録選手の変更は大会初日、受付に届けること。(登録選手は25名以内)
ブルペン	次試合の先発投手・捕手に限りス終了後に使用できる。
応援・メガホン	鳴り物を使用した応援は禁止する。メガホンは1個に限りベンチ内への持ち込みを認める。
ボールボーイ等	ボールボーイは登録選手が行う。(バット拾いは次打者)
マナー	ベンチ内で相手チームに対する聞き苦しい野次は厳禁。(スタンドの野次もチームの責任)
タイムの回数	チームが1試合にとれるタイムの回数は3回とする。特別延長からは1イニングに1回。
協力要請	大会役員・審判員・グラウンド整備員はボランティアで大会運営に協力していますので、不手際等がありましても皆様の寛大なる御心で御理解・御協力をお願いします。
日時・時間変更	雨天等での試合の有無は本部より連絡しますのでチームから下記に問い合わせること。

田方支部少年部長	木下 正樹	080-3288-0209
田方支部少年副部長	伊藤 彰剛	090-8334-6094
田方支部少年副部長	土屋 直也	090-1753-7856

第43回選抜少年野球田方大会 運営予算 (案)

収入の部			支出の部		
科目	明細	金額	科目	明細	金額
大会参加費	@7,000円×32チーム	224,000	大会プログラム	500冊×200円/冊	100,000
協賛金		415,000	大会記念品	優勝・準優勝×タイル代	110,000
(1) 田方支部	@5,000円×9チーム=45,000円		審判料	1日目：16試合×2人×2,500円=80,000円 2日目：12試合×2人×2,500円=60,000円 3日目：3試合×4人×2,500円=30,000円	170,000
(2) 企業・団体	企業・団体協賛金 (田方支部協賛金) 2024と同額で試算 370,000円				
繰越金		163,051			
雑収入		949	会場使用料	韭山球場・多目的：65,000円 さつきヶ丘野球場・多目的：30,000円 江間グラウンド：5,000円 園南スポーツ公園：27,000円	127,000
収入合計		803,000			
			食糧費		64,800
			弁当代	1日目：(役員24+審判32)×600円=33,600円 2日目：(役員8+審判24)×600円=19,200円 3日目：(役員8+審判12)×600円=12,000円	
			謝礼	開会式	10,000
			通信・輸送費		10,000
			事務費	文庫・賞状・検定版印刷等	20,000
			消耗品費	試合球 (9ダース)・ロジン・ワックスサンド	60,000
			会場運営費	12会場×5,000円=60,000円	60,000
			雑費		20,000
			施設使用料		10,000
			会議費	運営委員会 (役員会・監督会・運営委員)	10,000
			予備費	順延等予備経費	31,200
			支出合計		803,000

x